

Question

a スカウト運動のねらいとは

a 国際社会に貢献できる
より良き青少年の育成

b 100周年に向けてどんなスカウトを育成するのか、その為に何をやるのか

b 活動的で自立したスカウトを育てよう

c だれがスカウトを育成するのか

c 団委員長や隊指導者を中心に推進

d だれか何を支援してくれるのか

e 定型外で何を支援してくれるのか

f どんな指導者を養成するのか

f スカウトに慕われ
保護者に信頼される指導者

g どんな方法で養成するのか

h 指導者は何をやるのか

b より良いスカウトのイメージ

- 1 1級、菊、準、富士スカウトへ進級成長させる
- 2 「ちかい、おきて」の日常的な実践活動を推進
- 3 野外活動を通じてスカウトの成長を推進する
- 4 健康で常に「日々の善行や奉仕活動」の実践を
- 5 実践的で行動力を持ったスカウトを育てる

d 地区・県連・日本連盟などの理事会・常設委員会やコミッショナーなどの組織支援活動が必要

- 1 スカウト広報活動展開、「なろう、一人前に！！」
- 2 団基盤の確立を行い、団・隊活動の活性化など

e、インフォーマル活動として各種研修活動を実施

- 1, 楽しいスカウト活動の為、保護者の協力体制。
- 2, 先輩指導者によるインサービスサポートによる継続的個別指導が非常に大切である。

g 指導者養成方法とは ⇒29年度計画
(指導者の資質や意欲の向上)

- 1 WB研修所や実修所などの定型訓練
- 2 隊指導者へのスキルトレーニングを実施
- 3 スカウトコースでBSの基本と楽しさを
- 4 冒険的な集会実施のため安全セミナーを
- 5 団委員にWBでマネジメント研修実施
- 6 実修所ではプログラム企画力展開力up
- 7 定型外訓練として多くの実務研修実施
- 8 スカウト活動の魅力を社会へ発信させる

h 指導者は何をやるのか⇒29年度計画

- 1 楽しいスカウティングを目指す活動を
- 2 プログラムの年間、月間計画立案実施
- 3 礼儀・規律・基本動作の徹底指導実施
- 4 標準隊を目指して隊員の確保を重点に
- 5 セーフフロムハームの周知と実践
- 6 国際交流&ジャンボリー等参加支援を
- 7 スカウトの成長を保護者と共有する。
- 8 保護者満足度向上と隊長との連携強化
- 9 団会議, 団委員会, 保護者会の定期開催

f 指導者養成のMUST要件

- 1 スペシャルセンス (運動の目的などの理解を)
- 2 マネジメントセンス (管理統率能力、指導力)
- 3 コモンセンス (人格者、良識ある市民である)
- 4 スピード&パッション (本運動に対する熱意)
- 5 スカウト活動を積極的に推進できる健康状態
- 6 社会, 団内, 組織内や保護者との有効な人間関係
- 7 冒険的なプログラムの企画・実施能力を有する
- 8 スカウト活動を楽しく魅力あるものに (ゲーム)
- 9 知性と野性味を持ち柔軟な思考のできる指導者